

ご連絡先			
貴社名	ご記入ください。		
ご所属	ご記入ください。		
ご担当者様名	ご記入ください。		
ご住所	ご記入ください。		
TEL/FAX	ご記入ください。		
E メールアドレス	ご記入ください。		
ご注文番号/参照番号等	17/001 等、貴社で分かりやすい番号をお付けください。		
既知の危険/取扱上の注意等	添付 SDS 参照 等ご記入ください。		
その他特記事項	取り扱い上、特に注意しなければならない事項があればご記入ください。		
試料カラー写真のご送付	<input type="checkbox"/> 済 ・ <input type="checkbox"/> 未 メールに試料写真を添付ください。		
宣誓			
依頼内容に記載の情報は全て、中性子放射化分析実施のために提供する試料に関する完全かつ正確な情報です。			
役職	氏名	捺印 または 署名	日付(年月日)
ご記入ください。	ご記入ください。	ご記入ください。	ご記入ください。
分析依頼ご記入上の注意			
試料 ID	この試料 ID に対して報告いたします。		
試料の詳細・容器梱包の形態・概算質量	サンプルは、全て受入検査を行い、写真と照合します。試料が識別できるように正確に記載してください。		
分析希望の元素	分析元素の数が少ない場合、カンマで区切って全て列記してください(例 : Fe, Cl, V)。元素が、希土類元素、白金族元素などのように分類可能な場合は、その略語(例:REE、PGE)をご記入ください。測定可能な元素全てを分析希望の場合は、「全て」または「ALL」とご記入ください。		
特別な準備・その他	試料の取り扱いの項を参照ください。		

社内処理欄		
受領年月日	処理者	備考

分析依頼内容

容器に記載の試料 ID	試料の詳細	容器/梱包の形態	概算質量 (g)	分析希望元素	特別な準備・その他
CER001	粉末セラミック	プラスチック瓶	1g	全て	特になし
ADDRO593	鉄鉱石	紙パック	10g	Fe, Cl, V	水分定量
Met561	隕石	ガラス瓶	0.1g	全て	特になし
HDPE579	ポリエチレン顆粒	ファスナー付きプラスチックバッグ	10g	As, Cd, Sb	特になし
備考					

---

## <ご利用上の注意>

### 推奨容器

- ネジ蓋付のプラスチックまたはガラスの瓶、ファスナー付きやヒートシールのプラスチックバッグなど。  
出来る限り試料の量を最小限にしてください。

### 試料の取扱いについて

- 試料のお取り扱いには、ラボ用グローブの使用をお勧めします。特に測定対象が、ナトリウムや塩素の場合、これらの元素は、人の接触により容易に転移します。
- 測定される元素が材質に使われていない器具を使用してください。例えば、金属汚染の分析(特に極めて低いレベルの場合)、金属ヘラではなくプラスチックのヘラを使用してください。
- ステンレススチールの器具から出る Co、Cr 及び Fe により、容易に試料が汚染されます。
- 資料を粉体に砕く場合、粉碎に使用する器具の材料が容易に試料を汚染します。上記の例と同様、ステンレススチールの成分は、Co、Cr 及び Fe に転移し、一方タングステンカーバイドは、W(タングステン)に転移します。金属汚染を避ける場合、一般的にメノウが利用されています。
- C、H、O、N を含め(例：プラスチック)、NAA で検出されない元素で作られている取扱い器具が最も適しています。
- 基本的に照射炉ではお預かりした試料には一切手を加えずに分析しております。粉碎、水分定量等、ご要望により可能な限り対応させていただきますが、別途費用を頂戴いたします。「特別な準備・その他」の欄にご記入ください。

### 試料の量

- 殆どの試料は、1 回の分析につき 0.5g 以下で十分です。不明な場合は、個々にお問い合わせください。

### 照射できない材料

- Cd、Gd、Eu、Ir を 1%以上含む材料。サンプルが非常に小さい場合(限定的なアプリケーション)は除く。
- 可燃性または爆発性のもの。
- 液体及び気体。
- B(ホウ素)を含む材料は、含有量によっては照射できない場合があります。

---

## 分析試料について

試料は、90℃まで安定的で、この温度以下で相変化（溶解や昇華）が起こらないものであることが必要です。

契約照射炉では、様々な金属、鉱石、ガラス、プラスチック、セメント、土壌、生物学的試料及び食品試料に対して照射の承認を得ており、これらは全て分析に「適している」と考えられています。「可能」と考えられている材料には、高レベルのナトリウム、アンチモン、希土類元素、ウラン、金、銀及びリチウムを含有する試料があります。

新しい材料は、照射炉での安全を確保するために徹底した安全性の分析を行う必要がありますが、通常、完了まで数カ月かかります。食品、土壌、生物学的材料を分析することは容易ですが、オーストラリアへこれらの材料を輸入するには、オーストラリアでのガンマ線照射を含む厳しい輸入手続きが必要となり、追加の費用が必要となる場合があることをご了承ください。

\* \* \* \* \* ご不明な点は、事前にお問い合わせください \* \* \* \* \*